

# 首都圏企業が「沖縄の離島」を パートナーに選ぶ3つの経営メリット

～「生産性」「業績」「社員満足度」を同時に上げる、沖縄の離島に仮想拠点を持つ戦略～

株式会社ブルー・オーシャン沖縄

2026年2月発行

## このレポートをお勧めしたい経営者

- I. 売上に対して利益率の低さを課題と考えている経営者
- II. 業績に直結するDXを検討している経営者
- III. 会社運営を自分ごとと考える社員を増やしたい経営者
- IV. 自社の強みを活かした新しい領域でのビジネスを検討している経営者

## レポートの要約

本書は、首都圏企業が「沖縄の離島」を戦略的拠点として活用するメリットを解説したものです。離島の現地ワーカーに対する業務指導を「ワーケーション」として提供することで、社員の成長とリフレッシュを同時に実現。また、現地の自治体や企業訪問などを実施することで地域との関係性も強化、社会貢献企業としての基盤を確かなものにします。その他、本戦略の柱となる沖縄の人材プラットフォーム「アイランドコネクト沖縄」を活用するさまざまなメリットも提示します。単なる業務代行を超え、生産性向上・人事・企業プランディング・セキュリティといった企業の事業継続に必須の要素を同時に最適化する、新たなBPO戦略を提案します。

## 目次

1. はじめに：なぜ、今「沖縄の離島」にアウトソーシングするのか？
2. 沖縄の離島に自社の仮想拠点を持つという戦略
3. リゾートへの出張で「社員の成長・リフレッシュ」と「地方創生分野への進出」を同時に実現
4. 離島ワーカーならではの高い責任感が生産性を向上
5. 物理拠点だからこそ実現できる高いセキュリティレベル
6. 導入ステップ：沖縄の離島に仮想拠点を構築する
7. 結びに：地域貢献を経営の武器に変える

## 1. はじめに

～なぜ今「沖縄の離島」にアウトソーシングするのか？～

労働力不足が深刻化する日本において、BPO（業務委託）やクラウドソーシングの活用は、もはや選択肢ではなく、企業経営上、避けては通れない重要検討事項となりました。しかし、コストダウンと効率化を期待して導入したはずのアウトソーシングが、現場担当者に新たな疲弊をもたらしている場合も少なくありません。

私たち株式会社ブルー・オーシャン沖縄がご提案するのは、そのような課題をクリアし、さらに大きなビジネスチャンスに繋げるための「沖縄の離島」を軸とした全く新しいアウトソーシング戦略です。本レポートではその詳細をお伝えします。

## 2. 沖縄の離島に自社の仮想拠点を持つという戦略

私たちブルー・オーシャン沖縄がご提案するのは、単なる業務委託のスキームではありません。沖縄の離島に、御社の仮想的な拠点を持つという戦略です。

私たちが令和元年からスタートした人材プラットフォーム「アイランドコネクト沖縄」には、現在2,500名以上の沖縄県在住テレワーカーが登録しています。彼らの力を借りることで、お客様企業は固定費をかけることなく、必要な時に必要なリソースを確保できます。そしてそこには、ワーカー側は「本土企業の仕事を請けている」という自負が、発注側は「沖縄の離島をビジネスで支援している」という社会的付加価値が生まれます。この新たな関係性こそが、従来の無機質なBPOとは一線を画す、組織の新たな拡張形態の基盤になります。

## 3. リゾートへの出張で「社員の成長・リフレッシュ」と 「地方創生分野への進出」を同時に実現

本戦略の導入企業様から大変喜ばれているのが、沖縄の離島と関わることによる「自社社員のモチベーション変化」です。さらに、私たちのノウハウと人的ネットワークを活用し、御社の新たなビジネス展開もサポートします。

### ■ 社員の成長とリフレッシュに繋がるリゾート出張

通常、アウトソーシング先への業務指導やクオリティ管理の出張は、社員にとって負担となることが多いものです。しかし、行き先が沖縄県の「宮古島」や「石垣島」であれば話は変わります。

プロジェクトの立ち上げやワーカーへの業務指導は、社員に大きな成長の機会を提供するだけではありません。社員は業務終了後や週末を利用し、そのまま沖縄の離島で心身をリセットできます。つまり御社は、特別な社員教育プログラムや福利厚生メニューを追加することなく、出張という名目で社員に最高の成長機会とリフレッシュ機会を提供できることになります。これは採用の場においても「離島にサテライトチームがあり、定期的な現地訪問がある」というアピールポイントにもなります。

実際に当サービスをご利用いただいた企業様からは「このプロジェクトに携わって良かった」「仕事で沖縄に行けることがリフレッシュになる」という声を多くいただいています。

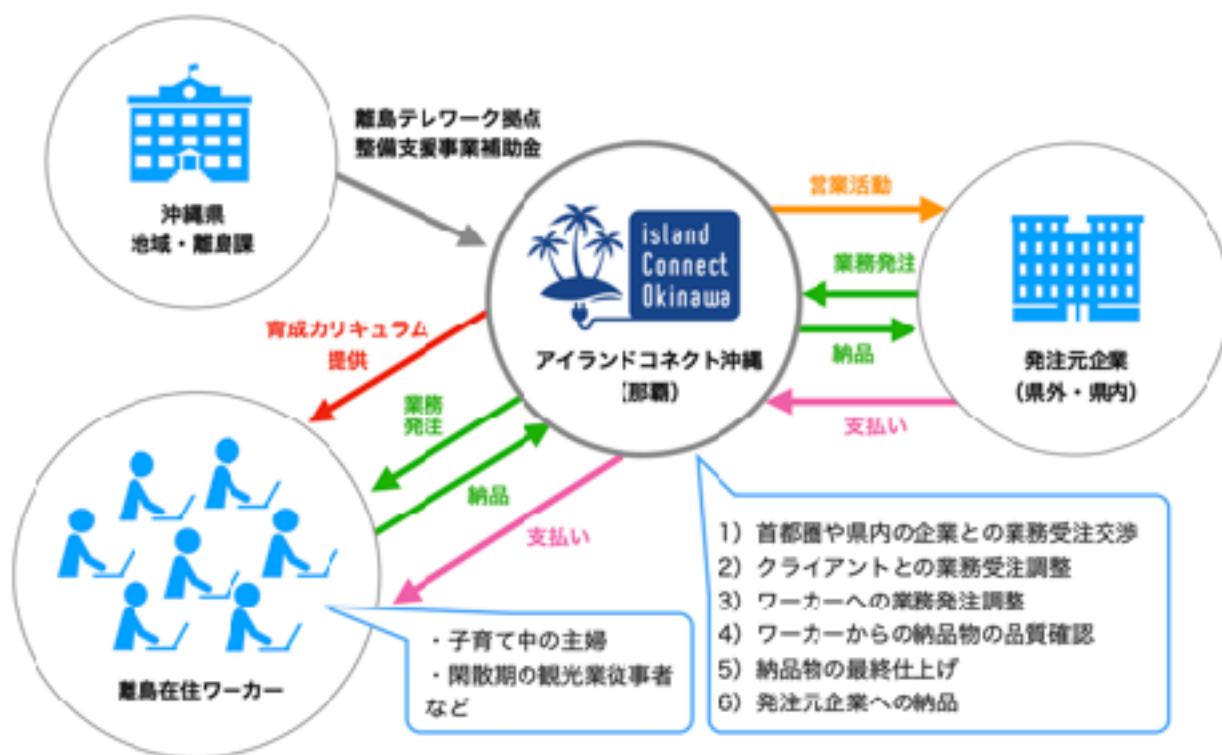
## ■ 地方創生分野への進出をサポートする自治体連携・視察プログラムをご用意

私たちブルー・オーシャン沖縄は2016年以降、さまざまな地方創生事業を通じてノウハウを蓄積するだけでなく、沖縄県内の各自治体との間に独自のネットワークを構築してきました。

本戦略では、ワーカーへの業務指導にとどまらず、役場や商工会など現地の自治体やキーマンとの関係構築を目的としたビジネスデベロップメントを、沖縄・離島のスペシャリストである私たちが手厚くサポートします。

企業版ふるさと納税の実施検討、強みとする技術やサービスを地域課題解決に活かすためのフィージibilitィ・スタディ（実現可能性調査）など、御社の地方創生分野への進出検討を強力にバックアップするプログラムをご用意いたします。

## 4. 離島ワーカーならではの高い責任感が生産性を向上



従来のクラウドソーシングの弱点は、ワーカーの匿名性が高く、また依頼主との関係性が希薄であるために、少しでも条件の良い案件があればワーカーが容易にスイッチしやすいところにありました。しかし本戦略は当社が運営する人材プラットフォーム「アイランドコネクト沖縄」がベースにあるため、そのような懸念は払拭されます。理由は以下のとおりです。

## ■ 互いの顔が見える信頼関係

「アイランドコネクト沖縄」は、2019年の開始後から今日に至るまで数多くの案件を受注してまいりましたが、そのスキームは上の図のようになっています。

アイランドコネクト沖縄では、事務局と離島ワーカーとのコミュニケーションが非常に緊密です。またそこでは「仕事の大きなミス」や「突然の投げ出し」は、単なるビジネス上のトラブルではなく、ワーカー自身の信頼を損なう死活問題にも繋がります。この相互の関係性と強い帰属意識が、ワーカーの「任された仕事は最後までやり遂げる」という高いプロ意識を生み出しています。

## ■ 「御社の仕事」という誇り

私たちはワーカーに対し、それぞれの業務を「無機質なタスク」としてではなく、「本土で最先端をいくパートナー企業からの依頼」であるという意識付けを徹底しています。そのため「石垣島の私が、日本経済を支える〇〇社のコア業務を支えている」という意識は、離職率の劇的な低下に直結しています。これは御社にとっては、頻繁なリクルーティングや教育コストをかけることなく、御社業務に精通した「熟練チーム」を長期にわたって無資産で保有できることを意味します。

## 5. 物理拠点だからこそ実現できる高いセキュリティレベル

「個人情報や機密データを扱う業務は、在宅ワーカーには任せられない」。この正当な懸念に対し、私たちは「沖縄の離島地区に、高セキュアなテレワーク拠点を物理的に構える」という解決策をご用意しました。

私たちは宮古島（2023年11月開設）に加え、石垣島（2025年8月開設）、伊江島（2025年10月開設）と、沖縄県内の離島に続々とテレワーク拠点を整備しています。これらの拠点での業務は、以下の3重の防護壁によって守られています。

### 1) 物理的防御

監視カメラによる24時間常時モニタリング、および生体認証等による厳格な入退室管理。

### 2) システム的防御

全ての作業をシンクライアント端末で行い、ローカルへのデータ保存や外部メディアへの書き出しを物理的に遮断。

### 3) 運用的防御

私物スマートフォンの持ち込み禁止の徹底と、JAPHICマーク（個人情報保護基準）に基づいた厳格なオペレーション。

これらにより、これまで外部への委託が困難だった金融データの入力、顧客情報の照合、未公開商材の検品といった、最高度の機密性が求められるバックオフィス業務の切り出しが可能となっています。また、カントリーリスクの回避により、安心・安全な業務遂行環境の実現に大きく寄与します。

## 6. 導入ステップ：沖縄の離島に仮想拠点を構築する

これは単なるBPOサービスではありません。沖縄の離島に御社の仮想的な拠点を構築するプロセスです。具体的には以下の段階を経てプロジェクトがスタートします。

### STEP 1：業務の切り分け

業務分析を行い、またその機密度に基づき、高セキュアセンター業務と柔軟な在宅業務を最適な形で切り分けます。

### STEP 2：チームビルディング

アイランドコネクト沖縄のワーカーの中から、御社の業務に特化した専属チームを編成します。「○○（御社名）石垣チーム」のような名称をつけます。

### STEP 3：御社社員の現地訪問によるワーカーや役場との関係性醸成

御社の社員様が現地を訪れ、業務を担当するワーカーだけでなく、役場の担当者とも直接対話することで、御社と地域との強固な信頼関係を構築します。ここで醸成された絆が長期的な品質安定の鍵となります。

### STEP 4：業務スタート

アイランドコネクト沖縄事務局の全面的なサポートの基、実際のBPO業務がスタートします。

## 7. 結びに：地域貢献を経営の武器に変える

離島への業務発注は、単なるコスト削減策に留まりません。それは、地方創生やSDGs（持続可能な開発目標）への具体的かつ直接的な貢献です。「沖縄の離島に安定した雇用を創出し、地域経済を支えている企業」という事実は、お客様企業のIR活動や採用プランディングにおいて、ステークホルダーへの強力なメッセージとなります。

こうした弊社の取り組みは公的にも高く評価され、2025年6月には沖縄総合通信事務所長表彰を受彰いたしました。

地域社会に貢献しながら生産性を向上し、社員の成長とリフレッシュを実現しながら地方創生分野にも進出。この新たなビジネスモデルを、私たちブルー・オーシャン沖縄と共に創り上げませんか？

#### 【お問い合わせ・資料請求】

お客様の具体的な課題に合わせ、当BPOサービスの活用シミュレーションをご提案します。

- 株式会社ブルー・オーシャン沖縄
- 電話：098-917-4849（平日9:00～18:00）
- Email：info@boo-oki.com
- URL：<http://boo-oki.com>